

リハビリテーション看護研修

研修名		時間	時期・方法	対象	講師	目標		
リハビリテーション看護 I	リハビリテーション概論と看護概論	リハビリテーション概論	60分	4月・講義	I 前	医師	リハビリテーションの概論が理解できる。	
		リハビリテーション看護概論	60分	4月・講義	I 前	看護師長	リハビリテーション看護の役割が理解できる。	
	リハビリテーション看護援助技術	模擬患者体験	180分	5月 体験学習	I 前	看護師	模擬患者体験から患者の気持ちを思いやることができる。	
		ADL援助技術 1・2・3	420分・120分・120分	4月・7月・10月 講義・演習	I 前	看護師	1.リハビリテーション看護に必要な基本的看護技術が習得できる。 1)関節可動域2)移乗・移動3)廃用症候群4)転倒予防のポイント 2.障害別の日常生活援助の基本技術を習得する。	
		ADL評価1・2	60分・120分	4月・7月 講義・演習	I 前	看護師	1.ADL評価、重症度・医療・看護必要度の概要を理解する。 2.FIM評価、重症度・医療・看護必要度の評価方法が習得できる。	
		スキンケア	180分	6月 講義・演習	I 前	認定看護師	1.スキンケアについて基本的知識が理解できる。 2.スキントラブル発生時の対応の基本がわかる。 3.褥瘡発生時のケア、管理、予防対策のポイントが理解できる。 4.褥瘡対策委員会の活動が理解できる。	
		摂食・嚥下障害援助	180分	5月 講義・演習	I 前	認定看護師	1.摂食・嚥下障害の基本的知識が理解できる。 2.食事介助方法が理解できる 3.口腔ケアの基礎的知識が理解できる。	
	チーム医療と看護 I	リハビリテーション部門研修	1日	9～11月 体験学習	I 前	各科訓練士	リハビリテーションにおけるPT・OT・STの役割や活動の実際を理解できる。	
	障害別看護 I	疾患の理解	骨・関節疾患	60分	9～12月 講義 eラーニング	I 前	各科医師 看護師	対象となる疾患・障害の特徴が理解できる。
			脊髄疾患	60分				
神経難病			60分					
脳血管疾患			60分					
認知症疾患			60分					
排泄障害			60分					
循環器疾患			60分					
リハ看護 II	チーム医療と看護 II	社会資源の活用	60分	6月 講義	I	MSW	1. 社会資源の種類と利用状況が理解できる。 2. 障害に応じた社会資源の活用方法を理解し、看護の役割を明確にできる。 3. 障害者自立支援法の概要について理解できる。	
		継続看護1	465分	12月 体験学習 eラーニング	II	認定看護師	1.在宅療養に向けた退院支援について理解する。 2.対象に合わせた退院支援の内容がわかり看護実践ができる。 3. 各職種と連携する必要性を理解し、看護の役割を明確にできる。	
		障害者の心理	90分	10月 講義	I	院内講師	1.障害者の心理状態について理解を深め、看護の役割が理解できる	
	障害別看護 II	骨・関節疾患看護	60分	9月 講義	I	看護師	骨・関節疾患患者のADL拡大のための援助について理解を深め、看護の役割が理解できる。	
		脊髄損傷看護	60分	11月 講義	I	看護師	脊髄損傷患者のADL拡大のための援助について理解を深め、看護の役割が理解できる。	
		神経難病看護	90分	11月 講義	I	看護師	神経難病患者の援助について理解を深め、看護の役割が理解できる。	
		脳血管障害看護	90分	9月 講義 eラーニング	I	認定看護師	脳血管障害患者のADL拡大のための援助について理解を深め、看護の役割が理解できる。	
		認知症看護	60分	10月 講義 eラーニング	I	看護師(研修修了者)	認知症患者の援助について理解を深め、看護の役割が理解できる。	
リハ看護 III	チーム医療と看護 III	継続看護(基礎)	465分	12月 体験学習 eラーニング	II	認定看護師	1.在宅療養に向けた退院支援について理解する。 2.対象に合わせた退院支援の内容がわかり看護実践ができる。 3. 各職種と連携する必要性を理解し、看護の役割を明確にできる。	
	障害別看護 III	高次脳機能障害看護	90分	6月 講義・GW	II	認定看護師	1.高次脳機能障害看護実践に必要な知識の再確認ができる。 2.事例展開をととして看護の役割を明確にできる。 3.対象の高次脳機能障害に合わせた看護実践ができる。	
		摂食・嚥下障害看護	90分	7月 講義・GW	II	認定看護師	1.摂食・嚥下障害看護実践に必要な知識の再確認ができる。 2.事例展開をととして看護の役割を明確にできる。 3.対象の摂食・嚥下障害に合わせた看護実践ができる。	
		排泄障害看護	120分	6月 講義・GW	II	認定看護師	1.排泄障害看護実践に必要な知識の再確認ができる。 2.事例展開をととして看護の役割を明確にできる。 3.対象の排泄障害に合わせた看護実践ができる。	
リハ看護 IV	チーム医療と看護 IV	継続看護(実践)	360分	9月 講義・GW eラーニング 実習	III	看護師	1.訪問看護の実際が理解できる 2.在宅療養に向けた看護師の役割が理解でき、退院支援ができる。	

全体研修・その他

研修名		時間	日時・方法	対象	講師	目標
看護管理研修Ⅰ・Ⅱ				主任 主査級 以上	看護師等 eラーニング	1.病棟管理に必要な能力を養う 2.看護単位の責任者として管理能力を高めることができる。
新人支援体制研修		60分	3月 6月 11月	新人 チーム	教育委員	新人看護職員支援体制を理解し、チームで新人看護職員の支援が実践できる。
救急看護		60分	10月～11月 講義・演習 eラーニング	全員	BLS認定者	看護師として根拠に基づいたBLSを習得し、実践できる。
不整脈について		60分	院外研修	全員	院外講師	1. 臨床でよくみられる不整脈を学ぶ 2. 急変時にみられる不整脈を学ぶ
トピックス研修		90分		全員	院外講師	トピックスとして話題になっていることについての知識技術を理解できる。
研修報告会		60分	1月	全員		研修報告を通して、学びの共有を行うことができる。
看護 研究	研究の基礎		eラーニング	全員		1.研究の意義を理解し、学会研究会に参加する。 2.所属部署での看護研究活動にメンバーとして参加する。
	実践(発表会含む)		4～3月 (発表2月)		院外講師	自ら研究に取り組むことで、研究の方法を学び実践し、看護の質の向上に資することができる。
看護補助者研修		30分	11月 講義 eラーニング	看護 補助者	看護師	看護補助者に必要な知識と技術を習得する。
専門研修		60分		I 以上	認定看護師	専門領域の看護や対象の特性・治療の特徴に応じた看護に必要な知識・技術の習得によって看護師個々の看護実践能力の育成と、リハビリテーションセンターの看護の質向上を図る。
そ の 他	心不全患者の看護	60分			院外講師	心不全患者の治療と看護を学ぶ
	終末期患者の看護	60分			院外講師	終末期における患者の看護と家族ケアを学ぶ
	意思決定支援	60分			院外講師	患者、家族が自分の意思で物事を考え、自分で決め、日常生活・社会生活の中で自分の意思を表明していくことを支援することを学ぶ

*一部研修は、eラーニングを併用する